

# 沖縄及び北方問題に関する特別委員会視察



7月14日から15日にかけて、衆議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会(渡辺周委員長)委員7名が当町を視察されました。今回の視察は、渡辺周委員長が久米島高校魅力化事業に関する記事を新聞で読み「久米島町の取り組みを是非直接見たい」との発案から実現しました。一行は7月14日、久米島町到着後に開催された夕食懇親会で、久米島高校の魅力化と発展を考える会嘉手苺一会長より、高校魅力化プロジェクトのこれまでの経緯についての説明を受けました。

翌15日は、まず海洋深層水関連施設の視察を行いました。沖縄県海洋深層水研究所では珊瑚養殖施設を見学したほか、佐賀大学海洋エネルギーセンター池上副所長より、エネルギー・水・食糧の自給率向上により持続した社会の構築を目指す「久米島モデル」の説明を受け、海洋温度差発電実証設備(OTEC)も見学しました。その後、周辺の海洋深層水関連企業を見学しました。

続いて一行は久米島高校を訪問。高校の取り組みについて前川校長から説明を受けながら授業風景を見学し、離島留学生や担任教師らと意見交換を行いました。進学先に久米島高校を選んだ理由や、久米島に来ての感想など、留学生達



の積極的な意見と受け答えに、委員の皆さんは感心していました。

その後、今年4月に開所した地域交流学習センター「じんぶん館」を訪れ、久米島町としての高校魅力化へのこれまでの取り組み、町営塾や寮の運営の状況などの説明があり、久米島町独自の取り組みについての質問が相次ぎました。「久米島町は、様々な面で先進的な取り組みをしている。特に高校魅力化事業の一環としての地域交流学習センターについては、一括交付金や地域おこし協力隊をうまく取り入れたモデルケースになる」と、高い評価を受けました。



## 国保の『限度額適用認定証』・『限度額適用・標準負担額減額認定証』の更新をしましょう。

○医療機関で受診し、1か月の自己負担限度額を超えたときは、病院の窓口で「限度額適用認定証」を提示することで、支払額が自己負担限度額までとなり、多額の現金を支払う必要がありません。現在発行されている「限度額適用認定証」または「限度額適用・標準負担額減額認定証」の有効期限が7月31日で切れます。8月1日以降、必要な方は下記により更新の手続きをしましょう。

### 『限度額適用認定証』・『限度額適用・標準負担額減額認定証』の交付申請方法等

- ① 申請を行う際に、国民健康保険税の滞納がないことが要件です。
- ② 医療費が高額になりそうなときは、お問い合わせの上、申請してください。  
持参するもの・・・保険証、印鑑(認印でも可)
- ③ 外来および入院するときに、認定証を病院に提示してください。
- ④ 長期入院(1年間に90日以上)該当候補者の方は新規の申請、更新の手続きの際に入院の期間がわかるもの(入院期間が記載された領収書等)をご持参ください。

### 未申告者の皆様へ

高額療養費制度の自己負担限度額は、申告されている方はその所得に応じた金額になりますが、世帯に未申告者が1人でもいる場合は、一番自己負担限度額が高い区分A【1ヶ月の限度額、が約26万円】が適用されます。まだ申告がお済でない方はお早めに申告ください。

お問合せ 福祉課 保険・年金班 国保担当 ☎985-7124

## 教育委員会からのお知らせ

### 第51回なかさと交流会 7/1~3

新潟県十日町市児童と本町児童の交流事業「第51回なかさと交流会」が7月1日~3日に開催され、十日町市からの訪問団20名(児童14名、引率6名)は、町内小学校での学校交流をはじめ、ハテの浜での海浜交流、伝統工芸のシーサー作り等を通じ、久米島の子ども達との友情を深め・広め、久米島の自然や文化、気候風土等を体験・経験しました。また、交流会での滞在中は久米島の交流児童の家庭でホームステイで過ごし、久米島の家庭料理や生活空間にも触れ、楽しい交流を過ごしました。

次回の「第52回なかさと交流会」は、来年1月に本町児童等が新潟県十日町市を訪問し開催される予定です。



### 平和学習会 6/23



「平和学習会」が久米島博物館、町内戦跡を巡り開催されました。戦争の悲惨さや平和の尊さを学ぼうと、町民ら28名が参加しました。平和ガイドを務める佐久田勇さん(字山城)は、参加者に沖縄戦に至る経緯や沖縄戦当時の様子について分かりやすく解説し、戦跡巡りではイーブビーチの米軍上陸地をはじめ、「宇根の防空壕」、日本軍に虐殺された住民の名前を刻銘した「痛恨の碑」等を訪れ、平和の尊さ、恒久平和を願いました。

## 外国語指導助手 カルメン先生お別れメッセージ



こんにちは、カルメン・ウィギンスです。久米島高校と久米島西中学校の英語の先生として5年目になり、7月29日に私は久米島を立ち去ります。久米島で英語を教える機会を頂きありがとうございました。久米島で生活できて光栄でした。

私はアメリカのとて小さな町の出身で、そこの人々は日本についてほとんど知りません。私は中学生の頃、いつか日本に行こうと決めましたが、多くの人はそれは不可能だと言いました。でも今、私は日本に住んでいます。それだけでなく、美しい島で、素晴らしい人たちに囲まれて暮らしています。どこに行っても私は笑顔にならずにいられません。私は皆さんがとても大好きです。

久米島で過ごした年月は、私にとって非常に特別なもので、皆さんすべてが特別な存在です。そのことが伝わるといいなと思います。私はここを去っても、皆さんのことをずっと覚えています。久米島にいたのはたった数年ですが、忘れられない思い出が詰まっています。久米島のこと、そして皆さんのことを、恋しく思うでしょう。

日本に住むことは私の夢でした。実際に住んでみたら、夢見ていた以上に素晴らしいものでした。私はここにいてよかったと幸せです。久米島に住むことができ、とても幸運だと思います。心から感謝しています。本当にありがとうございました。

Hello, my name is Carmen Wiggins. This is my fifth year as Kumejima Senior High School and Kumejima West Middle School's English teacher. On July 29th I will leave Kumejima. Thank you for allowing me to live and teach in Kumejima. Living in Kumejima has been an honor. I am from a very small town in America. People know very little about Japan there. When I was in middle school I decided that one day I would go to Japan. Many people told me it was impossible. But. Now I live in Japan. Not only do I live in Japan, I live on a beautiful island surrounded by wonderful people. Everywhere I go I am forced to smile. I love you all so much. These years are very special for me. You are all special for me. I want you to understand that. When I am gone I will still remember you. I am only here for a few years. These years are full of memories I will remember forever. I will miss this place. I will miss these people. Living in Japan was my dream. Now that I am here, it is much more than I expected. I am very happy to be here. I am so lucky to live in Kumejima. I would like to sincerely convey my feelings of gratitude. Thank you very much.

お問合せ 教育委員会 ☎985-2287